

今回は我が会員の会への参加理由を記してみます。

私自身高碕翁の生誕の地の柱本生まれでもなく、単にこの高槻北部土着の市民であります。では、なぜ翁への深い興味が芽生えたかという、私なりに高碕翁の郷土の偉人として数々の功績を誇りに思い、この高槻北部の土着の民から観察した、高槻南部の柱本で生まれ育った、高碕翁との気質の違いや、共通点を探ってみたく思ったからです。

皆さんご承知のように高槻市域は南北に長く、高槻北部一帯は山陽道の陸運を通じて王城の地京都と直結し、住民はシャイで内面的であります。一方高碕生誕の地でもある高槻南部に位置する柱本は、大阪都心との関わりが事のほか深く、気質はよりアクティブで開放的な印象を持っています。このような違いを探求したく高碕翁にも興味を持った次第です(宮本)。

■第七回高碕達之助研究会開かれる

10/1(月)クロスパル高槻で高碕達之助研究会が開催され、北村研究員より前回に引き継いで満洲引上げと電源開発総裁就任までの高碕翁に関して講演していただきました。

内容は高碕翁が、中華民国の使者として日本へ出張し、そのまま帰国したお話、賠償物件の予定であった製鉄所のお話、高碕翁が電力業界に興味を抱ききっかけとなった「電力の鬼：松永弥右衛門」のお話をしていただきました。

なお、毎回研究会終了後発表者を囲んで懇親会を実施しています。研究会参加者の約半数が出席され、本例会以上の盛り上がりを見せています。皆さん是非参加されてはどうでしょうか。

■高碕達之助研究会予定 於：クロスパル高槻

回	日	題目	講演者
8回	11/5	納沙布岬を訪ねて	宮本研究員
9回	12/3	政治家高碕翁の功績	角会長
10回	来年 2/4	LT貿易と高碕翁	甘田外成(東洋製罐元専務)

■紙芝居ついに完成

かねてからの念願でありました紙芝居「高槻名誉市民高碕達之助物語」～荘川桜編～が完成しました。この紙芝居は高槻在住の河村さんによるものです。

内容は、高碕翁の生い立ちから始まり、外国での生活、そして日本に帰ってからダム建設に係り、ダムに沈む桜＝荘川桜を村人の心を思い移植した話を中心にになります。

対象は小学生で、高槻の素晴らしい高碕翁の業績をお話できればと思っています。まずは11/7に西大冠小学校放課後教室でお披露目の予定です。ご紹介していただければどこでもお話に行かせていただきます。(馬淵)



■「高槻市制 75 周年のあゆみ」講演

上記の会が 10/15(月)クロスパル高槻で開催され、現在高槻まつり振興会会長である中川修一さんに“高槻まつりの歴史”に関して講演していただきました。

高槻まつりは昭和 45 年に第一回目が開催され、中川氏は 7 年会長をなさっています。ご苦労の話として、今回のデズニ一行進の中止、地区での難題、警察との安全面での交渉、参加者受け入れ限度、参加者間での意見の相違など、現場のお話を聞くことができました。



■「高槻名誉市民山崎旭萃を語る」の講演

10/18 シニア 100 ネット高槻の例会における追加講演として、城内公民館で上記の内容で講演を行わせて頂きました。

以前は学校でも旭萃氏の琵琶演奏が聴けたそうです。芸能・芸術論まで話が進み、盛況のうちに今年度分は終了しました。

来年も、この会で高槻市制に関しお話をさせていただきます(馬淵)

